

いしづち

愛媛労災病院広報紙第19巻第4号

（通巻第94号）

2020年10月3日発行

発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして
地域の人々のために信頼される
医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に
推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、
以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の
決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務



当院独自の「糖尿病性腎症重症化予防プロ グラム」構築を目指して……………	2
手術室紹介……………	3

薬剤部紹介……………	3
ハローワークによる出張相談所を設置しています …	4
おうちで本格イオントリートメント始めませんか？ …	4

当院独自の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」構築を目指して

内科 中井 一 彰

2012年4月に国は、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、全国の医療機関において透析導入予防の取り組みが開始されました。糖尿病性腎症/腎臓病（以下DKD）による新規透析導入患者は、2010年現在年間16247人だそうですが、これを2022年度には15000人へ減少させ、医療費への圧迫を軽減させようというものです。

DKDの発症進展予防には、血糖値や血圧、脂質管理だけでなく、食事や運動指導、禁煙指導などリスク因子を包括的に管理する、集学的治療が有効とされ、当院においてもハイリスク患者を抽出し、定期受診ごとの日常生活指導や食事指導など集学的介入を行っております。

DKDは蛋白尿の増加を認め、徐々に腎機能（eGFR：推算糸球体濾過量で主に評価する。）が低下するという経過が典型的ですが、近年蛋白尿が増加しないままeGFRが急速に低下し、腎不全に至るといった非典型例が増えていくことが報告されています。したがってeGFRを低下させない薬剤は、腎臓保護効果が期待でき、既にいくつかの糖尿病治療薬や降圧薬、脂質治療薬が投薬されています。脂質治療薬の中にEPA（エイコサペンタエン酸）やDHA（ドコサヘキサエン酸）という魚油の成分を含む薬剤がありますが、この薬剤がeGFRの低下を阻止し、蛋白尿を減少させるという臨床データがいくつか報告されています。否定的なデータもあるため、この薬剤が腎臓保護目的で広く投与されることはありませんが、当院でこの薬剤を投与した患者の、投与開始から1年間のeGFRの変化を調べたところ、途中でEPAとDHAの両成分を含む薬剤に変更した28例では、EPAのみ含む薬剤を継続した100例に比

図1：EPA開始から1年（1Y）間のeGFRの推移

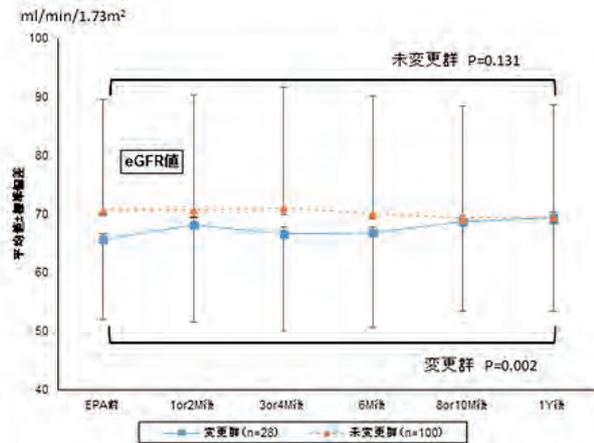


表1：EPA開始時と1年後のeGFRの比較

評価項目	時期	治療法		P値 ^①
		EPA+DHA変更群 (n=28)	未変更(EPA継続)群 (n=100)	
eGFR	EPA投与開始時	65.7	70.6	0.205
	EPA投与1年後	69.2	69.4	0.980
変化量(1年後-開始時)		3.5	-1.2	0.003**
P値 ^②		0.002	0.131	
変化量の修正平均値 ^③		2.77	-0.71	0.040**

① P<0.05, ** P<0.01, 注1: Student's t検定, 注2: 対応のあるt検定
注3: 変化量の修正平均値は既述薬剤をeGFR変化量、独立変数を治療法、EPA投与開始時のeGFR、DPP4阻害薬、年齢、UA、T-cholesterolとした片分散分析にて算出

変化量の修正平均の差 3.49

べて、1年後のeGFRが有意に上昇しておりました(図1)。eGFRに影響する様々な影響を除いても有意な上昇であり(表1)、この薬剤の腎臓保護効果が期待できるのではと考えます。EPA+DHA含有製剤服用の推奨、および栄養指導で魚類、特に青魚をたくさん摂取することを推奨するなど、当院独自の透析導入予防策に繋げていきたいと考えます。

手術室紹介

看護師長 長野綾子

手術室は、手術室経験年数平均7.2年の熟達した看護師12名で、患者さんの安全・安心を第一に、進化する手術に遅れを取らないよう知識と技術の習得に日々努力しています。最近では患者さんの体に負担の少ない内視鏡的粘膜炎剥離術など低侵襲手術と、歯科医師が令和元年度より増員されたことによる口腔外科手術が増加しています。

手術室看護師が予定手術を受ける患者さんを対象に、入退院支援センターで術前看護外来を行っており、リスク評価・休薬指導・禁煙指導を実施すると共に、安全に手術準備ができるよう努めています。また、手術前に医師、手術室看護師、病棟看護師、理学療法士な



どでカンファレンスを行い、情報共有をしています。入院後は、手術担当看護師が術前に病室を訪問し、患者さんやご家族の不安を軽減し、安心して手術に臨めるよう取り組んでいます。

今後も医師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士など多職種と協働し、安全で質の高い医療が提供できるよう努めてまいります。



薬剤部紹介

薬剤部長 長嶋一泰

薬剤部は、外来がん治療認定薬剤師1名、4月より新人1名が加わり、9名の薬剤師で薬剤業務を行っています。

病棟毎に専任の薬剤師を配置して、患者さんのアドヒアランス向上、副作用、相互作用の早期発見など、薬学的視点から医師、看護師との連携を取り、的確な治療の支援を行っています。

当院では緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、感染対策チーム、認知症ケアチーム、糖尿病ケアチームなどの様々な職種により構成された医療チームが活動しています。薬剤部では、この医療チームの一員として患者さんの治療に積極的に関わっています。

また、がん治療では、患者さんそれぞれの状態に合わせた抗がん剤治療が重要となります。

薬剤部では、抗がん剤治療が計画どおり行われる様に、投与量、間隔、検査値等も含めて総合的に確認しています。また、抗がん剤は、薬

剤師が安全キャビネットと呼ばれる専用の設備の中で、安全かつ無菌的に調製を行っており、患者さんが安心して治療が受けられるように取り組んでいます。

これからも薬剤の適正使用にむけて積極的に関わっていきたいと考えています。

どうぞ、今後とも愛媛労災病院をよろしくお願いたします。



ハローワークによる出張相談所を設置しています

愛媛労災病院では、ハローワーク新居浜と連携して、がん・肝炎・糖尿病など長期にわたる療養を続けながら働きたいという方の相談をお受けしています。お気軽にご相談、お問い合わせください。



日時：毎週月曜日 10:00～15:00（祝祭日はお休み）
場所：愛媛労災病院 1階 医療相談室
対象：がん、糖尿病、肝炎、その他疾患の治療中の方で、仕事の事でお悩みの方
費用：無料
申込：予約制、要申込
 ※ 予約制を基本としておりますが、外来の待ち時間にもお問い合わせいただけます。
 ※ 秘密厳守です。

[予約・お問い合わせ]

愛媛労災病院 治療就労両立支援部

医療ソーシャルワーカー 田中、医事課 山根

☎ (0897) 33-6191(代) (平日 8:15～17:00 対応)

※ 通院中の患者さんは、各診療科の看護師までお問い合わせください。

※ 入院中の患者さんは、病棟師長までお問い合わせください。

新居浜公共職業安定所【ハローワーク新居浜】

長期療養者就職支援ナビゲーター 眞鍋

☎ (0897) 34-7100 (平日 8:30～17:15 対応)

おうちで本格イオントリートメント始めませんか？

当院皮膚科では、ご家庭でホームケアとして使えるイオン導入器を販売しています。

医療機関専売、お手頃な価格でご購入いただけます。

価格：2万9800円（税抜）

しかもトリートメントパワーが違います！

高機能、簡単操作！

全顔、たった3分しかかからないのでいつでも手軽にできます。

美白、ニキビや毛穴ケア、たるみやくすみ、クマなど気になる方はぜひお試しください。

また、イオン導入に最適な高濃度ビタミンCローションも扱っていますので、当院皮膚科にお気軽にご相談ください。

愛媛労災病院皮膚科

